

# ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218  
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

1998年(平成10年)11月25日 No.1109

## 目次

ロシアの鉄鋼業界の現状.....	坂口 泉 1
統計速報.....	12
CIS諸国通貨の最新為替レート.....	12

## ロシアの鉄鋼業界の現状

はじめに 近年、ロシアの安価な鉄鋼製品が世界市場に大量に出回り、各国の鉄鋼メーカーにとって脅威となっている。それと同時に、ロシアの鉄鋼分野の状況およびロシアの主要鉄鋼メーカーに対する関心も高まりつつある。そこで、今回は、ロシアの鉄鋼業界の全般的状況とロシア最大の鉄鋼メーカーである「セヴェルスタリ」の現状を報告することとする。

### 1. ロシア鉄鋼業界の現状

#### (1) 生産の現状

ソ連解体後、国内需要の低迷が主因となり、ロシアの鉄鋼製品の生産は激減した。その後、好調な輸出に支えられ生産は徐々に安定してきていたが、1998年に入り、再び減産傾向が目立ちはじめている。たとえば、1998年1～9月の粗鋼生産量は約3,301.2万tと前年同期の約91%の水準にとどまった。その他、銑鉄も完成鋼材も、それぞれ前年同期比6%と9%の減産を記録した(『Mining & Metals Report』1998.10.30)。

これは、1998年1月よりウクライナからロシアに輸入される鉄鋼製品にかけられていた付加価値税が廃止されたことによる国内市場での競争の激化、および、主要市場であったアジア市場での需要低迷といった要因が重なったためと推測される。

今後、米国市場でロシア製の鉄鋼製品に対するダンピング制裁措置が実施される可能性があること、ならびに、国内市場の早急な改善が望みがたいことなどを勘案すれば、1999年はさらに生産量が落ち込む可能性が高い。